

が必要と考えますが伺います。

市長 一般的な企業の倒産については、国・県の救済制度や社会福祉協議会の救済制度等を利用していただきたいと考えます。

○奥州市の財政運営について
○高齢者の災害支援対策について



せき 関 しょうこ 議員

質問 18年度決算が終わりました。市長はこの1年どの様に総括しておられますかお伺い致します。

市長 合併初年度は市民の皆様方の期待も大きい訳ですが、集中的な効果もありますが逆に分散を維持する年で、生活にあまり変化がない様、これまでの祭りや行事を継続して行ける様な観点も大切に、財政運営を実施して参りました。

その中で行財政改革効果は計画比109%4億7千万余となり一定の成果と考えております。これから評価システムにかけて検証して行く事となりますが、事業の見直し等に結びつけて行く考えであります。又合併前の約束でありました新市の建設計画や総合計画の

基本構想、そして行革計画が確立できました事は私として大きな仕事でした。お示ししております通り単年度及び、累積収支はしばらく赤字が続きますが、財政健全化に向け、係数を示しながら努力して参ります。

質問 高齢者が自然災害や交通事故・犯罪に巻き込まれる事例が多くなって来ました。市の対策についてお伺い致します。

市長 防災の日に各区で訓練等も行っておりますが、現在ネット



防災訓練（江刺区の北上川水辺の楽校にて）

ワーク事業等で、高齢者の日常生活の把握や災害時の取り組みについて、民生委員、消防団、ボランティアの皆さんの協力を頂き検討を重ねている所です。又犯罪や交通事故に遭わない様関係機関と連携を取りながら啓発活動等について対策を行って参ります。

○農畜産物の販売について
○マラソン大会のあり方について



ふじた よしのり 議員

質問 奥州市となったことにより、生産者の中には奥州という名で農畜産物が売れるのではないかと期待された方もおりましたが現状はどうかお伺いします。

市長 合併後のデータは現在、公表されていない状況であります。畜産の分野で岩手奥州牛協会の設立があげられ、市場での評価が徐々に高まってきていることがひとつの成果であったと思います。

質問 世界遺産登録を来年に控え、販売戦略として利用すべきと考えますが、見解をお伺いします。

市長 活用に向けて、関係の団体機関と一緒に取り組んでいく必



いさわ焼石マラソン大会の様子（胆沢区）

要が大きいと思っております。

質問 奥州市には3つのマラソン大会がありますが、開催にあたっての課題と今後のあり方についてお伺いをします。

教育委員長 厳しい財政状況のなかで工夫をこらしながら、質をおとすことなく続けてまいりましたが、これまでと同様の大会を維持していくには困難な状況、また、運営にあたるボランティアの動員確保も年々厳しい状況となっております。今後のあり方については、